

みんなの議会 おおさと

NO.212

令和5年11月1日

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

豊作を願って

(有限会社薬師農産)

- P. 4 令和4年度決算
- P. 8 町へ意見・提言
- P. 16 **新議員8名が登壇**
(一般質問)
- P. 25 第3・4回臨時会
- P. 27 追跡レポート

町民の期待を担って 新しい議員を紹介します【正副議長を除く】

※氏名・議席番号・当選回数・抱負を掲載します。



すずき としひろ
鈴木 利博
3番 (1回)

パイオニア精神で、大郷町の活性化に努めてまいります。弱者にいつも寄り添える、観音の心を重心とします。



かまだ あきふみ
鎌田 暁史
2番 (1回)

町民の皆様の声をよく聴き、議会に届けます。「困っている人を放っておかない」姿勢を貫いて、活動してまいります。



あかま しげゆき
赤間 繁幸
1番 (1回)

皆様の声に真摯に向き合い、「是々非々」を信条に、よりよいまちづくりの一助となるよう、日々研鑽を重ねてまいります。



すずき けいこ
鈴木 恵子
6番 (1回)

町民の皆様のお声に耳を傾け、安心と生きがいのあるまちづくりに、誠心誠意、取り組みます。



ささき かずお
佐々木 和夫
5番 (1回)

議員として責任の重大さに身の引き締まる思いです。議員らしい活動ができるよう勉学に励み住みよいまちづくりをめざし責務を果たしてまいります。



あかま のりゆき
赤間 則幸
4番 (1回)

地域の皆様の声に耳を傾け、暮らしやすく「魅力溢れるまちづくり」を、皆様と心をひとつにして実現してまいります。



あつみ ふみよし
熱海 文義
9番 (4回)

議会運営委員長として議会をまとめ、安心安全なまちづくりに邁進してまいりますので、これからもご支援ご鞭撻をお願いします。



たなか みえこ
田中 三恵子
8番 (1回)

「健康で住みよい大郷町へ」を掲げ、誰もが安心して暮らせる大郷町を目指して、小さな声にも耳を傾け一生懸命働いてまいります。



きす しんいち
金須 新一
7番 (1回)

消防士としての42年の経験と知識を生かし、大郷町をもっと安心で安全なまちにをめざし、活動してまいります。



いしがき まさひろ
石垣 正博
10番 (5回)

14年間、議会議員として全力で活動しました。経験を活かし、研鑽を積み重ね、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

会派名	所属議員
郷政会	代表 熱海文義 赤間繁幸 佐々木和夫 石川良彦
日本共産党	代表 鎌田暁史
公明党	代表 田中三恵子
真成会	代表 金須新一 鈴木利博 赤間則幸 鈴木恵子
町民クラブ	代表 石垣正博 高橋重信

※会派とは、同じ理念や政策を持つ議員のグループのこと。

新体制で議会がスタート

議長に石川良彦氏、副議長に高橋重信氏を選出

改選後の初議会が、9月11日に開会されました。投票の結果、議長に石川良彦氏、副議長に高橋重信氏が当選しました。その後、各委員会の委員、一部事務組合議会議員の選任などを行いました。また、監査委員の選任に同意し、閉会しました。



議長
いしかわ よしこ
石川 良彦
(当選回数7回)

新体制で決意新たに

議員定数を2減して改選後、初議会において、不肖私、引き続き議長に選任され、微力ながら、公平無私を旨に、議会権能の発揮、円滑な議会運営に努めてまいります。

新体制のもと、町民皆様のご期待に応えるべく、決意新たに、一層の議会改革の推進、信頼される議会を目指し、鋭意取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご支援をお願い申し上げます。



副議長
たかはし しげのぶ
高橋 重信
(当選回数5回)

復興まちづくりは後世につながる町に

副議長の任に選任されて責務の重大さを自覚しております。

復興まちづくりを通して交流人口の増が移住・定住につながる、後世につながる町に。町民皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

- 委員長 高橋重信
- 副委員長 鈴木恵子
- 委員 鈴木博義
- 委員 佐々木新和
- 委員 金須新一

総務産業常任委員会

- 委員長 鈴木利博
- 副委員長 赤間繁幸
- 委員 佐々木和夫
- 委員 高橋重信
- 委員 赤間則幸

教育民生常任委員会

- 委員長 金須新一
- 副委員長 熱海文義
- 委員 鎌田暁史
- 委員 田中三恵子
- 委員 石垣正博
- 委員 鈴木恵子

黒川地域行政事務組合議員

- 鎌田新一
- 金須新一
- 赤間則幸
- 熱海文義

吉田川溜池流域大和町外3市3ヶ町村組合議員

- 赤間繁幸
- 鈴木利博

宮城県後期高齢者医療広域連合議員

- 田中三恵子

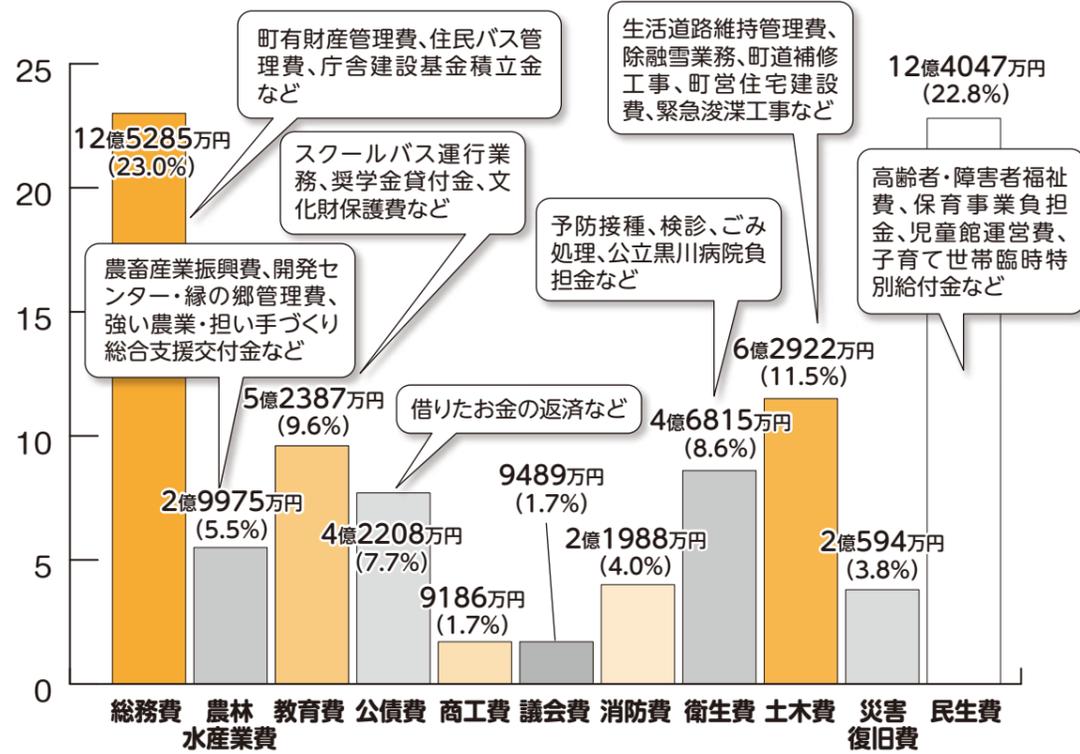
監査委員

- 赤間繁幸

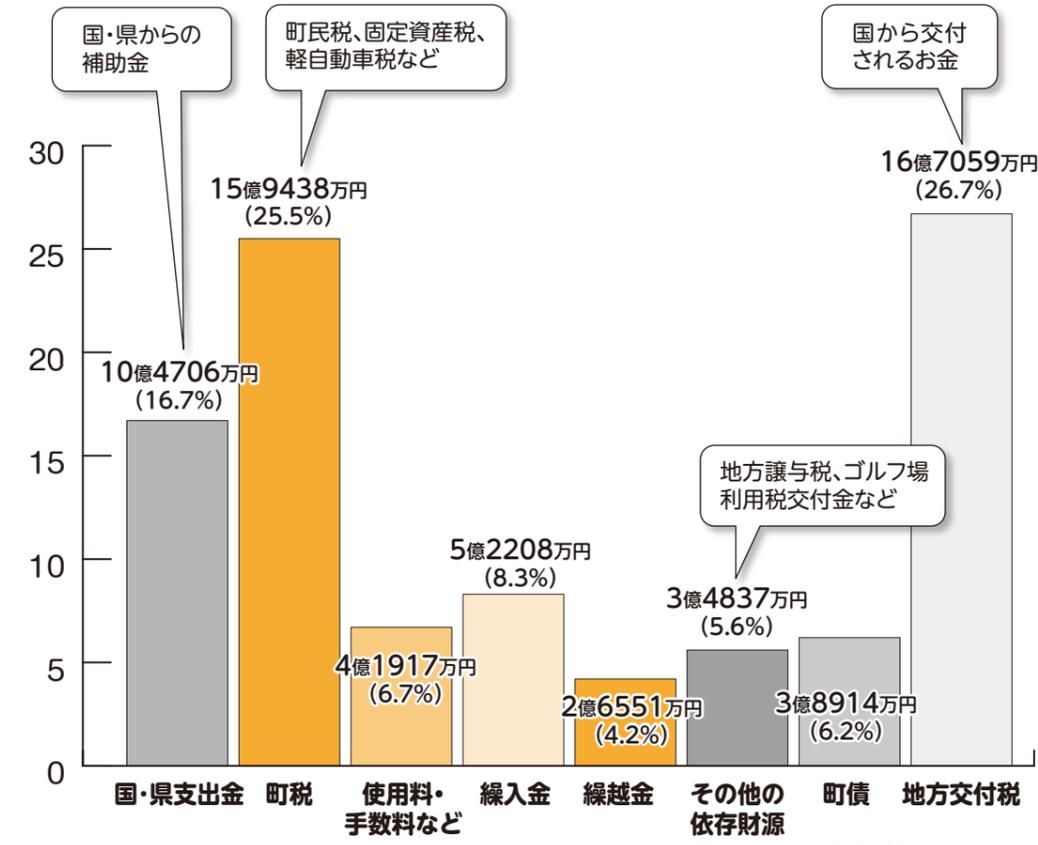
災害復旧・復興に

(3月福島県沖地震/7月大雨)

令和4年度一般会計の決算は、歳入は前年度より12億7686万円減、歳出は前年度より13億6867万円減となり歳入歳出とも前年度を下回っている。
また、歳入歳出差引額は8億732万円であった。



一般会計 歳出 **54億4902万円**
(翌年度繰越額14億2514万円)



一般会計 歳入 **62億5634万円**

令和5年第3回定例会は、9月13日から29日までの17日間の会期で開かれた。令和4年度決算を審議し、一般会計、7つの特別会計および水道事業を含む、総額85億円の決算を認定した。(採決結果一覧はP11、P15に掲載)

●各種会計歳出決算額●

会計別	令和4年度決算
一般会計	54億4902万円
特別会計	9億970万円
国民健康保険	10億6593万円
介護保険	9310万円
後期高齢者医療	2億1336万円
下水道事業	5408万円
農業集落排水事業	1億70万円
戸別合併処理浄化槽	2億3634万円
宅地分譲事業	2億3530万円
収益的収支	2億3112万円
資本的収支	
合計	85億8866万円

※1万円未満は四捨五入

主な事業

- ▶ 災害復旧費 (3月福島県沖地震・7月大雨) 2億595万円
- ▶ 中粕川地区防災拠点整備事業 4559万円
- ▶ こども園、小・中学校バス運行経費 5744万円
- ▶ 小・中学校、保育園など給食費無償化補助金 3721万円
- ▶ 小・中学校外壁等修繕工事 9306万円
- ▶ すこやか子育て医療費助成 2673万円
- ▶ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (農業資材等高騰対策補助金など) 1億1836万円
- ▶ 生活応援商品券発行事業 4067万円

依存財源
国・県・借入金に
頼った財源

34億5518万円

自主財源
町自らが収納
・徴収できる財源

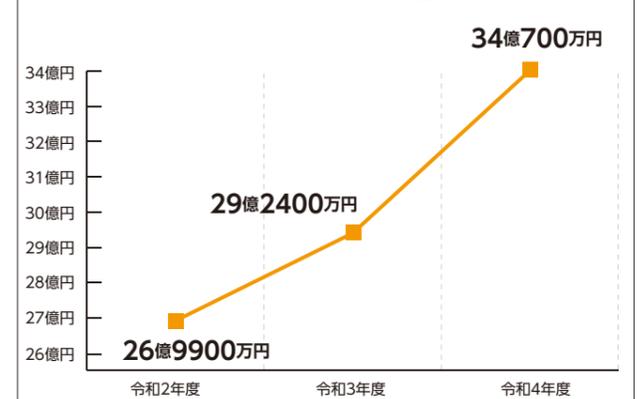
28億115万円

町民1人当たりの預金と借金



預金は各種基金、借金は町債としています。
令和4年度末の人口(7710人)で算出しています。

基金残高の推移



(水道事業会計を除く)

一般会計・特別会計

令和4年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、一般会計および各種会計を認定しました。

徹底

水道事業会計予算を

検証



熱海 文義 委員長



鈴木 利博 副委員長



▲トイレは清潔にマナーアップ(支倉常長メモリアルパーク)

町の公園管理
問 公園のトイレを快適にしていたきたい。
答 破損箇所は現在工事発注中。今後、老朽化もあり、改修なども含め気持ちよく使えるように心がけていく。



▲町の名物に

みやぎの水田農業改革支援事業
問 この支援事業の受益者負担が多い。県の補助以外にも近隣市町村で補助をしているが。

地域資源活用事業
問 大郷みそカレー完成。大郷の道の駅などでの販売は。
答 町内各店舗での販売に向けて協議を進めている。

生活の利便性向上を



▲百歳体操(上町いきいきクラブ)

いきいき百歳体操
問 いきいき百歳体操はどのような内容か。
答 各市町村を確認し検討していく。

青年団
問 町で団に活動の場を提供して、若い人たちが気軽に集まれるような環境づくりをしていただきたい。
答 仙台管内でも若者のイベントがあり、参加している。

高齢者シエルトー事業
問 施設に入所した期間は。
答 2カ月程度。
 ※高齢者シエルトー事業とは家族からの虐待などにより、在宅生活が困難と認められた場合に対応する事業。

ごみ収集
問 ごみの減量化・資源化を図るため、町民への周知は。
答 環境衛生組合長の研修会などで、得た情報を持ち帰り、町民への周知を図っている。



▲事故防止対策完了(土橋)

安全施設設置工事(ため池)
問 昨年、ため池のフェンス設置工事は何カ所あったのか。
答 2カ所の工事を行っている。



文化会館内(こころのケアハウス)

こころのケアハウス
問 こころのケアハウスで学習しても、卒業資格はもらえるのか。
答 小・中学校とも、こころのケアハウスに通った場合、出席扱いとなり卒業に大きな支障はない。



▲火災時の頼み綱

消防水利
問 消防水利の状況もある。必要があれば状況を見ながら検討する。
答 地区の要望があれば作ってくれるのか。



▲後谷地排水機場

消防団協力事業所
問 事業所が何社あるのか。
答 2社ある。

排水機場
問 後谷地排水機場は、大雨の都度危険となる。対策は。
答 治水に関する国営事業を検討しており、ポンプの機能アップを予定している。

安全・安心な生活環境

町当局へ19項目

の意見を提言

強化 消防団員不足への対応

消防団員の定数確保・組織編制に努められたい。

問 消防団員が定数に至っていない。
答 どの行政区も高齢化し、若手の入団が少ない。



▲有事に備えて

強化 増え続ける不法投棄

ごみ不法投棄の巡視を強化されたい。

問 車通りの少ない道に不法投棄が目立ってきているが。
答 巡視の強化を図る。

強化 より一層の教育

より一層の円滑な教育行政の運営に努められたい。

問 ALTの役割とは。
答 ALTの生の姿を見ることで英語に対する親しみが持てる。

強化 道路の安全

道路パトロールを徹底し、適正管理を図られたい。

問 道路段差でバイク事故が発生した。
答 パトロールの強化を図る。

改善 減少が止まらない 応援寄付金

ふるさと応援寄付金の確保に努められたい。

問 なぜ減少しているのか。
答 台風被害の復興が進むにつれ、減少している。

推進 各種健診の受診率向上を

引き続き各種健診の受診率向上に努められたい。

問 各種健診が一括で受診できたフラップ21での継続を。
答 引き続き検討しながら対応していく。

強化 職員募集に創意工夫を

職員の増員と適正配置に努められたい。

問 専門職は何名不足しているか。
答 建築職で1名、保健師が1、2名不足。引き続き募集を行っていく。

推進 STOP ザ 不納欠損

不納欠損に至らないよう引き続き努力されたい。

問 どうして不納欠損になるのか。
答 やむを得ない諸事情により不納欠損に至っている。

改善 物産館2階(和室)の改善を

物産館2階の有効活用を図られたい。

問 どのような形で使われているか。
答 会議、サークルなどで使われている。



▲ほとんど利用されない和室

推進 第2の足として!

ふれあい号利用方法の周知を徹底されたい。

問 利用者が少ないのでは。
答 1日平均6名利用している。



▲運転できない人は迷わずご利用を

改善 住民によりそった運行に

住民バスの利便性を考慮した運行改善を図られたい。

問 休日運行はできないのか。
答 利用者が見込めないので、現時点で運行の予定はない。



▲望まれる休日運行(住民バス)

改善 懸念される修繕費!

「パストラル縁の郷」の中長期計画を示されたい。

問 施設管理費が増え続けているが。
答 長寿命化計画を基に計画的な施設の修繕と維持管理に努める。

推進 特産品の開発を早急に

特産品の商品開発に努められたい。

問 今後開発予定の商品は。
答 各種団体と協議して開発を行っていく。

推進 資料館の在り方の早期検討を

歴史民俗資料準備委員会からの指摘を踏まえ、資料館のあり方を早期に構築されたい。

問 2回開催の歴史民俗資料準備委員会での内容は。

答 学識経験者の方から保存方法など改善の指摘を受け、話し合った。

反対
鎌田 暁史 議員
予算への指摘が反映されず
令和4年度の一般会計予算に対する反対
討論で指摘された事項が盛り込まれな
いまままで決算となるため認定には反対する。
以下を要望する。
① 地域再生計画の5本柱について具体的な方
針と実施計画の説明、進捗の報告。
② 町主導で農業の担い手不足を解消する方策
を示す。
③ 決算書の歳出の備考の記載改善。

推進 水道事業会計

石綿セメント管の更新と漏水調査を早期に行い、有収率の向上に努められたい。

推進 下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

引き続き加入促進を図られたい。

強化 緊急通報システムの強化 介護保険特別会計

緊急通報システム※の促進・啓発に努められたい。

※1人暮らしの高齢者などが急病や事故の緊急時に連絡体制を確保するしくみのこと。

監査委員の意見(要約)

効率的かつ効果的な行財政運営を

一般会計

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策事業・物価高騰に対する各種の経済支援事業に対応。予定された事業は、可能な限り進捗しおおむね適正かつ効果的に事務執行が達成。職員数に余裕はないが事務執行を工夫し、一層の組織力を発揮し、町民の福祉に資する事業運営の取り組みに万全を期されたい。

国民健康保健・後期高齢者医療・介護保険各特別会計

保険給付費等の抑制につながるよう各種検診や保健指導の推進を図られたい。

下水道・農業集落排水・戸別合併処理浄化槽各特別会計

公債費の縮減を推進するとともに、利用者の負担を抑制し、公共水域の水質保全および町民の生活様式の改善のため、水洗化促進に努められたい。

宅地分譲事業特別会計

人口減少改善につながるよう、定住促進事業を推進されたい。

水道事業会計

地震災害により給水有収率6・6%減少。石綿セメント管更新を含む、建設改良事業の推進により、水道管の長寿命化を図られたい。

改善・要望

- 優秀人材の獲得や人手不足の解消、職員の離職や意欲低下の防止、業務効率改善による時間外労働の削減につながるようワークライフバランスの充実を図られたい。
- 組織としてのチェック体制を見直し、内部統制の充実を図ることにより、町民の信頼を失う事案が発生しないよう取り組みを徹底されたい。
- 予算編成にあたっては、十分に注意を払っていただきたい。既定予算外の事務執行については許容範囲内での予備費を充用された。
- 複数課共同の視察研修に対応した旅費規程の改訂が望ましい。
- 町税や保険料ならびに各種貸付金の収入未済金について、さらなる収納成果の向上を図られたい。(株)おおさと地域振興公社の過年度返納金についても、引き続き早期解消に努められたい。
- 新公会計導入に向けた備品台帳等の整理を図られたい。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦
決算認定	一般会計歳出	54億4902万円	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険歳出	9億970万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険歳出	10億6593万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療歳出	9310万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業歳出	2億1336万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業歳出	5408万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽歳出	1億70万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業歳出	2億3634万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業	①収益的支出:2億3530万円 ②資本的支出:2億3112万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○:賛成 ●:反対 継:継続審査 退:退席 欠:欠席

※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

諮問第1号 人権擁護委員の推薦



三田村 道雄 氏
(中粕川)

〈任期〉令和6年1月1日～
令和8年12月31日
(3年間)

同意第2号 教育委員会教育長の任命



鳥海 義弘 氏
(大崎市)

〈任期〉令和5年10月23日～
令和8年10月22日
(3年間)

同意第3号 教育委員会委員の任命



及川 明美 氏
(味明)

〈任期〉令和5年10月1日～
令和9年9月30日
(4年間)

次回 定例会

12月1日(金)から12月6日(水)まで午前10時～

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」にて配信しています。
右記のQRコードよりご覧いただけます。



325 畜産特別対策支援事業交付金
万円 (飼料高騰対策)



▲安定経営への支援を

6140 施設設備等改修工事
万円



▲安心して快適な利用に
海洋センターアリーナの室内LED化、
屋根の修繕工事

5797 町道除融雪業務
万円 (町道のみ)



▲通勤・通学の安全のために

2314 町道補修工事
万円



▲安心して歩けるまちに

安全安心な暮らしのための予算

9月定例会
補正予算

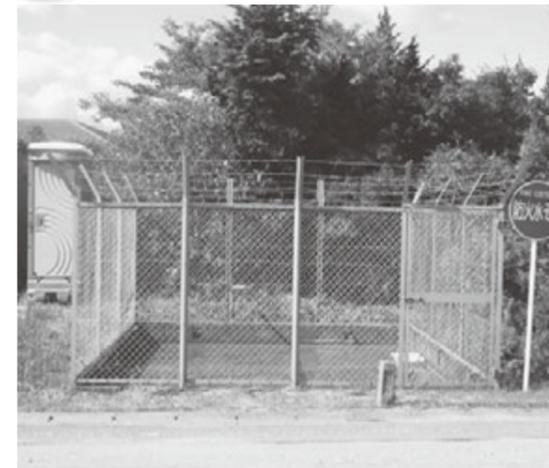
一般会計補正予算(第4号)は3億784万2千円を追加、歳入・歳出それぞれ61億9869万9千円となりました。

めだま!

今回の主な



275 消火栓設置工事負担金
万円



▲防火水槽から消火栓へ切り替わることになった(中村)

770 安全施設設置工事
万円 (石原地区浸水対策応急工事)



▲大雨に備えて

問 内容について伺う。
答 大雨ごとに浸水。浸水対策を施す工事。

問 当初予算ではなく、なぜ補正予算で計上となるのか。
答 農地維持支払交付金は当初予算で長寿命化に係るものは補正予算で対応している。

多面的機能活動組織交付金
(1306万円)

縁の郷テレワーク施設整備事業工事管理業務
(450万円)
問 当初予算で1億円を計上し、また今回さらに予算を計上するのはなぜか。
答 議会からの指摘もあり、設計と工事をしっかりと管理していくため。

問 職員で辞める人が多くいように見受けられる。
答 自己都合、自分が新たな仕事にチャレンジしたいのが理由。働きやすい環境づくりに努める。

時間外勤務手当
(345万円)

問 内容は。
答 希望の丘団地の駐車場、公園を平らに整備する。

住宅管理費
(280万円)

問 設計の段階で把握すべきである。なぜ側溝を整備するのか。
答 敷き砂の下地が粘土質であり、大雨時に大量の水が流れ出るため、整備するもの。

原団地(中村)側溝整備排水工事
(319万円)

その他の質疑

議案採決結果一覧表

9月定例会

一般議案

議案名(略称)		採決結果	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦	
臨時会 第5回	同意第1号 監査委員の選任	同意	無記名投票											
第3回定例会	報告第8号 健全化判断比率について	報告のみ												
	報告第9号 資金不足比率について	報告のみ												
	諮問第1号	同意	無記名投票											
	同意第2~16号	同意	無記名投票											
	議案第56~59号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第60号	一般会計(第4号) 61億9870万円(3億784万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第61号	国民健康保険(第1号) 9億3952万円(194万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第62号	介護保険(第2号) 11億5735万円(2506万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第63号	後期高齢者医療(第1号) 9870万円(58万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第64号	下水道事業(第2号) 2億5788万円(2426万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第65号	農業集落排水事業(第1号) 7878万円(345万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第66号	戸別合併処理浄化槽(第1号) 8263万円(1087万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第67号	宅地分譲事業(第1号) 2850万円(2125万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第68号	水道事業会計(第1号) ①収益的支出:2億6530万円(2088万円↑) ②資本的支出:1億5439万円(1375万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※賛否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない

人事案件

同意第4・5号 固定資産評価審査委員の選任

熊谷正伸(山崎) 赤間 正(中粕川)

同意第6~16号 農業委員会委員の任命

蜂屋文雄(羽生) 石川安彦(山崎)
相澤清美(味明) 赤間勘策(鶉崎)
森合芳信(土橋) 赤間輝行(長崎)
鎌田たけむら 勉(丸山) 鈴木木だあきら 明(中粕川)
高橋佳郁(上郷) 大和田純一(上村)
武内和子(下町)

選挙管理委員

蜂屋文雄 高橋和壽
櫻井昭一 及川守江

選挙管理委員補充員

千坂卓俊 石川久美子
赤間りつ子 渡辺千富

- 議案第56号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第57号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第58号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案第59号 道路占用料条例の一部改正
道路法施行令の一部が改正されたことから、関連する箇所(道路占用料など)を改正する。

〈施行日〉
令和6年4月1日

主な占用物件の占用料

占用物件	単位	現行	改正後
第2種電柱	1本につき1年	470円	670円
第1種電話柱	1本につき1年	270円	390円
共架電線	長さ1mにつき1年	3円	4円
工事用施設(足場など)	面積1㎡につき1カ月	67円	59円

次ページから一般質問

9名が町政を質す!





あかま のりゆき 議員
赤間 則幸

熱中症・自然災害への対策は 来年度予算に反映できるよう検討(町長)

問 熱中症だが、高温になると全国的に毎日報道された一言では言えない熱中症、自然災害への対策について町長の考えを。

答 町長 最近の災害実例を考えると、想定外の災害が頻発している事象である。暑さ対策もそういう意味でも想定外の暑さであるので、来年に備える内容。それから来年度の予算編成にも反映できるような役場内で検討してまいりたい。

問 今年の夏の猛暑について、先月の選挙運動で町内各地区を回ったが、これまで経験したことのない暑さを肌身で感じ、朝の天気予報を見れば危険な暑さに注意といったアナウンスが連日続き、熱中症による残念な事故の報道が流れた。

答 町長 本町において、猛暑による



あつみ ふみよし 議員
熱海 文義

夢実の国の今後は 動向を見守る(町長)

問 新たな民間企業に経営してもらい、町として経営が安定できるように援助してはどうか。

答 町長 企業支援については、既存の支援制度を踏まえ検討する。

問 経営がうまくいくように町から提案しては。

答 町長 年間2000万円くらいの灯油代がかかり、経営が厳しいということであり、町で事業に手をかけるといことは極めて不可能に近い。

問 ふるさと納税の返礼品である地ビール(松島ビール)の製造の継承を。

答 町長 事業内容を継承していただけの企業が運営することになれば、製造の継続も可能かと思っているが、動向を見守らざるを得ない。

人口減少対策は

問 現在、空き地・空き家バンクに登録されている件数は。

答 町長 空き家が19件、空き家が2件である。

問 バンクに登録されていない空き地や空き家がある。その対策は。

答 町長 昨年、行政区長の協力をいただき、物件の台帳整理を行った。より多くのバンク登録していただけるよう周知していく。

問 周知だけではなく現場を調査しては。

答 町長 まちづくり政策課長現場を見ながら調査をした上で空き家バンクに誘導をしていきたい。

問 旧町営住宅東沢団地をどうしていくのか。

答 町長 未利用の町有地は売却することで民間などに有効活用いただき、税収増につなげていきたい。

一般質問

幼児期から英語教育を

問 人的被害がどれだけあったのか伺う。

答 町長 黒川消防署に確認したところ、本年7、8月に熱中症による救急搬送件数は18件で、亡くなった方はいなかった。

問 高齢者の方などに対してエアコンの使い方について町の防災無線で注意喚起を行ったのか。

答 総務課長 報道などで熱中症警戒アラートが出た際には、防災無線を使い、全町民の方へエアコンの適切な使用、こまめな水分補給を呼びかけた。

問 農作物への影響について、稲刈りの適期が大きく前倒しになったと聞いているが、作柄としてはどのような見通しとなっているか。

答 町長 宮城県の水稲作柄は「やや良」となっている。町内の状況については、JA新みやぎに確認したところ、水稲の収量は平年並み。

問 米以外の作物はどのような影響が出たのか伺う。

答 町長 その種類によって異なり、大豆は、播種の時期にもよるが、おおむね良好、ネギについては、猛暑の影響で害虫

問 何歳から英語教育をしているのか。

答 教育長 小学校1年生から年10時間実施している。また、1・2年生は、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことを指導方針としている。

問 幼児期から数十分だけでもいいので、遊びの中で英語と関わる教育をしては。

答 教育長 こども園において、3・4・5歳児が年間25回の活動を通し、英語に慣れ、親しみを感じてもらおうことをねらいとし、歌や踊り、ゲームなどを1回につき20分間の活動をしている。



▲また温泉に入りたい

などが発生し、やや不良とこのことを確認している。



▲気象庁より



国保税の引き下げを

適正な税率の設定に努めていく(町長)

かま だ 議長
あき ぶみ
鎌田 暁史

問 子どもの均等割は最初から納付しなくてもよいように制度の改善を求める。

答 町民課長 県内で下から6番目の税率で決して高くはない。税率を下げる認識はない。

問 国保会計の財政調整基金には加入者の国保税1年半分以上の金額が積み上げられている。一部を取り崩しても影響はないと考えるがどうか。

答 町長 令和4年度の集計データによると、本町の国保税率は県内35市町村の中で下から6番目に低く、決して高い水準であるとの認識はない。

問 今後も医療費の推移や保険料水準の統一化の動きなどを注視しながら、適正な税率の設定に努めていく。

答 町長 令和4年度の集計データによると、本町の国保税率は県内35市町村の中で下から6番目に低く、決して高い水準であるとの認識はない。

問 高すぎる国保税の引き下げを求める町民の声にどう応えるか。

答 町長 令和4年度の集計データによると、本町の国保税率は県内35市町村の中で下から6番目に低く、決して高い水準であるとの認識はない。

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

問 尿漏れパッドやストマを使用しているも気兼ねなく外出できるように、公共施設の男子トイレに設置しては。

答 町長 各公共施設の多目的トイレには設置済み。役場庁舎の多目的トイレに設置した。他のトイレにも今後検討する。

問 民間施設や店舗などにも協力を依頼しては。

答 町長 今後、商工会を通じて協力依頼を行いたい。

問 一目で分かりやすい案内表示にし、多目的トイレの場所を町の案内マップなどでアピールしては。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

た なか 議長
み え こ
田中 三恵子

救急医療情報キットの活用を

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

一般質問

スマートスポーツパーク構想

問 地域振興拠点計画策定の各調査の進捗状況は。

答 町長 地域未来投資促進法の活用を念頭に国・県などの関係機関と協議中。基本計画(案)を策定次第、インフラ整備計画、全体事業費など各種調査を実施していく。

問 9月上旬の地権者を中心とした説明会では町から何を説明したのか、質疑内容は。

答 町長 町からは地域活性化事業の必要性や、地域振興拠点計画候補地(案)、用地取得

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。

問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。



▲農地があってこそその農業

得単価等について説明し、民間企業からは事業計画を説明をした。

問 当地は強風が吹き付ける日がある。サッカー場に適していると言えるか。

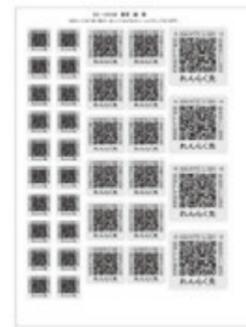
答 復興推進課長 企業側の判断となる。企業側は理解していると解釈する。



救急医療情報キットが冷蔵庫にあります



▲安心・安全な生活を守る



問 緊急通報時、個人情報保護を正確に確実に把握できる「救急医療情報キット」を活用する。

答 町長 役場庁舎の表示を変更した。マップでのアピールは、全ての多目的トイレの表示を点検し、利用者目線の表示に努める。



議員 鈴木 恵子

在宅介護者への支援の充実を

必要ならば検討する(町長)

ふるさと納税・PRを積極的に

問 8月の議会広報に、ふるさと納税パンフレット作製中道の駅などに設置予定とあるが、いつ頃なのか。設置場所については、もっと幅広く考えては。

答 町長 11月を目標としており、道の駅のほか役場庁舎な

問 昨今の物価高騰に伴う家族介護用品支援事業の支給額の増額はできないか。

答 町長 町では、価格高騰の影響が大きい世帯への給付金、全世帯への生活応援商品券発行など、消費生活支援を行ってきた。これらを活用していただければと思っている。今後、極めて厳しい状況であれば、担当課と相談しながら、前向きな対応が必要かと思っている。

問 気仙沼市では、市内に住する60歳以上が、障がいや病気で自力での移動が困難な有権者を、自宅から投票所までの往復タクシー代を補助する支援を打ち出したが、本町でも同様の取り組みは可能か。

答 町長 本町にはタクシー会社がないことから、平日に住民バスや、ふれあい号を利用して期日前投票をすることが可能である。

問 10月に実施される県議会議員選挙以降、ふれあい号を利用することは可能か。

答 総務課長 70歳以上の高齢者であれば、登録している方または、登録さえすれば、10月に行われる県議会議員選挙においても対応は可能である。

問 投票箱を高齢者などの自宅まで運び、投票するような対応は可能か。

問 10月から返礼品基準が厳しくなるが対応策は。

答 町長 返礼品提供事業者などと協議中、利用者の選択肢が増えるので、情報を捉え返礼品の増に努めていく。

問 大郷町アピールのために、返礼品や物産館で扱う農産物などにシールをデザイン化して商品に貼り販売する取り組みをしては。

答 農政商工課長 いろいろな方法があると思うが、多方面と協議していき、町としての方向に進めたい。

問 ふるさと納税は、ふるさとを離れて暮らしている方や、大郷町を応援していただける方にも協力をお願いするものとなっているが、特に大郷町を離れて暮らしている方へのアプローチをどう考えているか。

答 財政課長 今、国では過剰な宣伝について厳しくなっている。状況を見ながら多くの方に配っていきたい。

問 例えば、成人式とき配布物に同封してみても、町から離れて暮らしている若い方



▲「お変わりありませんか?」ご家族との会話も弾みます



議員 金須 新一

公費負担による防災士の育成を

補助金交付要綱を制定したい(町長)

問 防災士資格取得に係る補助金交付要綱を策定し、経費を全額負担して各行政区(22区)に防災士を育成し、配置する事業を考えているが町の考えを伺う。

答 町長 防災士資格取得に係る支援については、防災士は災害に強いまちづくりを推進するために必要な人材と認識しており、各地区の自主防災組織での活躍も期待できることから、今後、他自治体を参考にして内容を検討し、要綱を制定したいと考えている。

問 要綱を制定したいとの回答をいただいたが、「災害はまったなし」である。具体的な期日を示していただきたい。

答 総務課長 区長会が12月に開催予定である。その際各行政区の区長に話を伝え、その後、内容を町で検討し、

来年度に向けて予算を計上したいと考えている。議員の皆さま方にもご協力をいただき、ご審議いただきたい。

投票所まで移動手段がない高齢者の対応は?

問 気仙沼市では、市内に住する60歳以上が、障がいや病気で自力での移動が困難な有権者を、自宅から投票所までの往復タクシー代を補助する支援を打ち出したが、本町でも同様の取り組みは可能か。

答 町長 本町にはタクシー会社がないことから、平日に住民バスや、ふれあい号を利用して期日前投票をすることが可能である。

問 10月に実施される県議会議員選挙以降、ふれあい号を利用することは可能か。

答 総務課長 70歳以上の高齢者であれば、登録している方または、登録さえすれば、10月に行われる県議会議員選挙においても対応は可能である。

問 投票箱を高齢者などの自宅まで運び、投票するような対応は可能か。

地域防災の担い手・防災士

防災士とは
防災士とは「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。

自助 自分の命は自分で守る。
自分の安全は自分で守るのが防災の基本です。災害時に自分の身を守るために日頃から身の回りの備えを行い、防災・減災に関する知識と技能を習得し、絶えずスキルアップに努めます。

共助 地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。
防災直後における初期消火、避難誘導、避難所開設などを住民自身の手で行うために、地域や職場の人たちと協力して、災害への備えや防災訓練を進めます。防災士は、そのための声かけ役となり、リーダーシップを発揮します。

協働 市民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。
日頃から、行政をはじめ防災・減災に関わる多様な機関と密接に連携し、「災害に強いまちづくり」をすすめます。また、災害発生時には、可能な範囲で被災地支援活動に取り組みます。

▲災害時頼れる人材育成を!(防災士協会抜粋)

答 総務課長 町内投票所6カ所、期日前投票所1カ所と定められており対応はできない。



農業生産資材及び飼料の高騰対策を

国・県の動向を注視していく(町長)

問 肥料・燃料が高騰し農業経営を圧迫している。今後継続と維持が困難な状況になるので、中長期的な軽減策が必要と考える。

答 町長 国と県において、肥料価格高騰対策事業を行っている。本町単独での軽減処置は行っていないが、今後も生産資材等の価格変動状況を把握するとともに、動向を注視していく。

問 農業者は、収入減少影響緩和対策や収入保険などありセーフティネットとなっているが、入金までのタイムロスに関してはどう考えるか。

答 農政商工課長 国・県・共済組合の事業となっているがタイムロスについては関係機関と話し合いをしてみたいと思う。

問 昨年度あった農業資材等高騰対策補助金が今年度は

移住定住対策の推進を

魅力あるまちづくりを行っていく(町長)

問 これまでも移住定住対策に尽力いただいたとは思いますが、具体的にどのような対策を行ってきたか伺う。

答 町長 生活環境整備、企業誘致、地場産業の育成、子育て支援などの施策を総合的に推進してきた。今後も住みやすく若者が魅力を感じられるようなまちづくりを実施していく。

問 本町が行った対策で、他自治体と比較して優れていると自負できる施策は。

答 町長 他市町村に先んじて、小中学校の給食費無償化、18歳までの医療費助成や若者子育て世帯への移住定住促進補助金事業などを実施している。

さらに、今年8月に登録承認されたかわまちづくり事業、縁の郷でのサテライトオフィス事業など、新たな観光施策に



あか ま 議員
しげ ゆき
赤間 繁幸

さ さ き 議員
かず お
佐々木 和夫

農業振興について

問 移住定住者を迎えるにあたっては、住宅用地の確保が必要と考えるが、町として新たに住宅団地の造成を行う考えはあるか。

答 町長 町が事業主体となつて事業を実施することは、財政的な問題や法的な制約などもあることから、民間活力による住宅団地の造成を推進するよう検討していく。

問 農業法人・集落営農組織と個人農家がそれぞれ町の補助金を活用した件数と金額を伺う。

答 町長 令和4年度、農業法人・集落営農組織が30件で5439万円、個人農家は12件で128万8000円となっている。

問 個人農家は農業法人・集落営農組織と比べ、国や県の補助金の対象になりづらいので、町の補助金をもう少し手厚くしてはどうか。

一般質問

よる交流・関係人口向上対策などは、他自治体と比較しても劣らない内容である。

畜産農家の支援を

問 粗飼料価格が毎年高騰している。また子牛価格および肉牛価格は昨年より下落しており、畜産経営が困難している状況にあるので、中長期的な軽減策が必要と考えるが今後の対応を考えてみてはどうか。

答 町長 国は価格安定制度に特例を設け対策を行っている。畜産特別対策支援事業交付金について今定例会に補正予算を計上した。今後も価格変動状況を把握するとともに、国や県の動向を注視していく。

問 令和5年度の畜産振興事業費が昨年度より減少している。今後補正予算などで対応できるのか。

答 農政商工課長 国で緊急補填制度が新たに設けられて

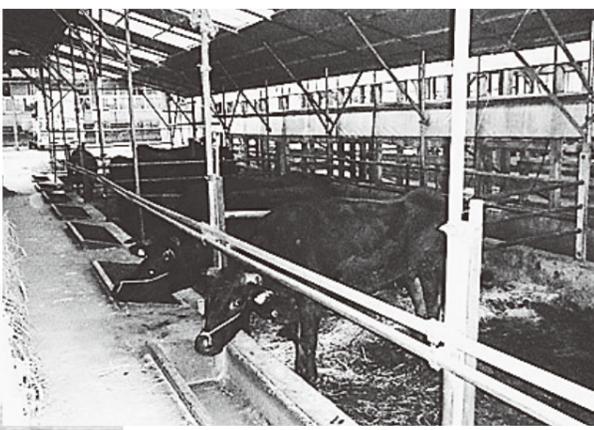
一般質問

いるので現在、補正予算などは考えていない。

問 コロナ禍ではあったが、仙台牛や大郷町アピールのため大郷町主催の共進会や共進会などを開催してはどうか。

答 農政商工課長 来年度に向けて検討したい。

答 町長 東京市場で共進会などが再開できるよう努力していく。



▲肥料・飼料等コスト高にあえぐ農業生産



▲個人農家がほとんどの稲刈りが終わった中村圃場

答 農政商工課長 ニーズを調査しながら、町の財政面を考慮し、二度調査して、使いやすいものを考えていく。

問 補助金を決めるチェックシートの改正を、来年度に間に合うようお願いしたいがどうか。

答 農政商工課長 できるだけ速やかに対応していく。

第3回臨時会

8月9日

大雨による 災害復旧に補正予算

4700万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ58億9085万7千円になった。

【議案第53号】
工事請負契約の締結
(木ノ崎地区急傾斜地
崩壊対策工事)
契約方 株式会社丹勝
契約金 6149万円



▲木ノ崎地区急傾斜地崩壊現場

【議案第54号】
一般会計補正予算(第3号)
農地災害復旧事業費補助金 1400万円
災害復旧工事 2008万9千円

問 農業施設の災害復旧費、被害額660万円の農業災害復旧費補助金について伺う。

答 50件分。40万円以下の農地小災害復旧事業を行う土地所有者に対し、70%を補助する。

第4回臨時会

8月16日

緑の郷テレワーク 施設整備事業

緑の郷の集合宿泊施設、交流・研修施設、歴史資料館及び屋外交渉施設の改修・サテライトオフィス、コワーキングスペースなどに改修するもの。

【議案第55号】 請負契約の締結
契約目的 令和5年度大郷町テレワーク施設整備事業
契約方法 随意契約(公募型プロポーザル方式)
契約金 7990万円
契約方 株式会社T-plan



▲テレワーク施設などに改修(緑の郷宿泊施設)

議案審議結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
第3回臨時会	議案第53号 工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議案第54号 一般会計補正予算(第3号) 58億9086万円(4701万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
第4回臨時会	議案第55号 請負契約の締結	可	○	○	○	欠	○	○	●	欠	○	○	○	○	●	○

(↑)は増額、(↓)は減額

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席
欠:欠席 ※可否回数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

議会の主な動き(7/1~9/30)

月日	用務	月日	用務
7/1	建町記念式典	8/16	第4回臨時会・議員全員協議会
7/3	広報広聴常任委員会	8/18	戦没者忠霊碑参拝
	仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会総会(仙台市)	8/20	黒川地区婦人防火クラブ研修会(大和町)
7/5	江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウム(大崎市)	9/3	大松沢区民体育祭
7/7	総務産業常任委員会視察(山形県長井市)	9/5	学校給食「大郷みそカレー」の試食会(大郷小学校)
7/11	広報広聴常任委員会	9/7	秋の交通安全県民総ぐるみ運動
7/12	老人クラブベタック大会	9/9	ふながた若鮎まつり(山形県舟形町)
7/13	教育民生常任委員会視察(すくすくゆめの郷こども園)	9/11	第5回臨時会・議員全員協議会・議会運営委員会
7/20	宮城県町村議会議長会議員講座	9/13~9/29	第3回定例会
7/21	宮城県町村議会議長会議員講座	9/13	広報広聴常任委員会
7/25	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議(仙台市)		黒川4市町村グラウンド・ゴルフ交流交歓大会
7/31	仙台北部道路建設期成同盟会総会(富谷市)	9/18	敬老会
8/1	黒川地方市町村議会連絡協議会役員会(大衡村)	9/21	秋の交通安全運動開始式
8/9	第3回臨時会・議員全員協議会	9/24	東北方面隊創隊63周年記念行事(仙台市)
8/11	黒川森林まつり	9/26	議員全員協議会

AEDの設置増設及び 既存箇所の改善について

調査していく(町長)

問 「AEDマップ」によれば、吉田川より北側でAEDが設置されている所は1カ所しかない。AEDがここにありませんよという外部への告知並びに昼夜発生する心肺停止に備えて、民間と協定し、昼夜問わず24時間利用できるような働きが必要では。

答 町長 AEDを24時間利用可能な民間企業などがあるかどうか調査していく。

問 町民のことを考えるならば各学区の分館にそして外部への設置が望ましい。

答 町長 各分館への設置は、無人のため有効性も含め検討が必要。分館屋外への設置は、防犯上などの課題があり現時点では考えていない。



鈴木 利博 議員

人口増加策について

問 町は過疎の認定を受け人口が減少傾向になっている。特に大松沢地区は、人口減少が加速状態になっている。「もっともっと住める宅地があればいいのになあ」という声を聴いている。そこで大松沢旧JAの南側などを土地区画整理によって宅地を確保すべきではないか。

答 町長 新たな住宅団地造成については、民間活力による住宅団地などの造成を推進していくような検討をしていく。大松沢地区での住宅需要なども確認しながら、候補地を含め検討していく。



一般質問

住宅支援事業補助金

問 新築住宅に限らず、本人が自ら町内に引っ越しをした場合にも拡張しては。町外からの転入者(移住・定住の促進を考える)にも効果があるのではないかと。

答 町長 本補助金における中古住宅の取り扱いについては、新築物件を対象としているのは、中古住宅と比べて経済的負担が大きいことから、その負担を軽減するための支援を行い、若い世代の移住定住を促すことを目的としており、現段階では、本補助金で中古物件の取得に対する支援は考えていない。

中古物件に対する補助金として、住宅リフォーム助成金を活用していきたい。



その後どうなった…

第88回

追跡リポート

Tracking Report



物産館2階の有効活用を

【これまでの意見・提言等】

道の駅2階の利用について、各種団体や町民も利用できるように検討すべきである。

(議会広報207号総務産業常任委員会委員会レポートより)

その後の対応と今後の計画

物産館2階は、令和4年度末に地震による災害復旧工事が完了しキッズスペースの利用を再開しております。雨天や猛暑などの天候に左右されない遊び場として、多くの子ども連れのお客様が利用し、特に週末は賑わっております。また、和室は会議やサークル活動の場として利用することができ、受け入れを行っております。

今後も、キッズスペースが有効利用できるよう改善しながら、物産館利用者や各種団体等が集まる場所の一つとして整備するよう、指定管理者である(株)おおさと地域振興公社と連携を図ってまいります。

農政商工課



▲2階和室の現況

歴史民俗資料館準備室

【これまでの意見・提言等】

・中長期的な計画を作り、歴史民俗資料館の整備計画も作成する必要があるのでは。(議会広報200号徹底検証より)

・歴史民俗資料館の展示に向けた整備・整理に努められたい。

(議会広報204号意見提言より)

その後の対応と今後の計画

令和4年度に大学教授等の専門家を含めた歴史民俗資料館設立準備委員会を組織し、保管している資料、出土品等の現状の確認作業を行い、保管方法の改善点等についてご意見をいただきました。現在、いただきました意見を基に、梱包材等の予算措置を行い、保管方法の改善を進めております。引き続き、資料等の保管環境の改善、整理を進めるとともに、有効利用、方策について検討してまいります。

社会教育課



▲保存環境の改善を

教育民生 7/13 常任委員会

早期に 通園バスに安全装置を



▲より安心安全に

【調査の概要】

すくすくゆめの郷こども園の運営状況について、社会福祉法人みらい理事長、こども園園長、町民課担当職員などにより説明を受け調査した。

意見

1. 令和4年3月の福島県沖地震で損壊した遊戯室がまだ未改修、また雑草も繁茂、自然豊かな環境を子どものために、より生かされるよう努め、町も積極的に関与し、国・県への補助獲得の働きかけをすべきである。
2. 通園バスの子ども置き去り防止のため、名簿と照らし合わせの乗降の確認、ダブルチェック等を実施し安心・安全を担保している。しかしヒューマンエラーはゼロにはできないので、国のガイドラインに沿った安全装置を早期に通園バスに設置されたい。

次回は

「教育環境の充実や
対策について」
を調査します。

総務産業 7/7 常任委員会

かわまちづくり 町民の意見を広く聴取を



▲長井市において研修

【調査の概要】

山形県長井市役所において、当市のかわまちづくり事業を建設課職員、山形県河川国道事務所専門官より説明を受けた後、最上川フットパスルートを地域ボランティアの案内で調査した。

意見

1. 長井市は「検討会」「推進会議」「推進協議会」と計画の認定まで5年を要していた。その中でワークショップだけの意見でなく、町民の意見も幅広く聴取し事業展開していた。本町でも協議会や住民の意見を聞き、今後の事業を検討されたい。
2. 河川敷の維持管理については、ボランティアを募って経費を抑えるなど工夫している。本町も中長期的な計画を立て、維持管理経費も含め事業展開できるよう検討されたい。
3. 総合的かつ計画的な政策等について、変更など生じた場合には速やかに議会へ報告並びに決定過程の説明をされたい。

次回は

「地域公共交通の
現状と課題について」
を調査します。



平成18年に法人設立。作付けは水稲42ヘクタール、飼料用米8ヘクタール、大豆6ヘクタール、枝豆1・6ヘクタール。トラクター6台、コンバイン2台、田植え機2台で作業を行っている。

従業員は38歳から46歳の6名で運営しており、地域の農業を担っていく会社として期待されている。

事業内容



代表取締役社長
たかはし 重信 寿巳さん



生産調整は約40%、昨年の仮渡金の値下がりとはひどく、米価上昇に国への提案を望む。

町への要望

寿司屋、弁当屋からのニーズが高いササニシキの生産拡大を図り売り上げ増大。また、高齢化、担い手不足、作業受託の増加に伴い若い労働力の確保。

今後の計画

特別委員会を設置しました

大郷町議会改革調査特別委員会

委員長 熱海文義
副委員長 鎌田暁史

【目的】

大郷町議会の改革・活性化に関する調査研究ならびに議員報酬に関する調査研究

【委員の定数】

11名(議長を除く全議員)

おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会

委員長 石垣正博
副委員長 鈴木利博

【目的】

(株)おおさと地域振興公社の事業運営に関する調査研究

【委員の定数】

11名(議長を除く全議員)

災害対策調査特別委員会

委員長 高橋重信
副委員長 田中三恵子

【目的】

自然災害状況調査および自然災害対策などに関する調査研究

【委員の定数】

11名(議長を除く全議員)

今年(令和5年)は気温が30度以上の日(30度以上)が3か月以上も続き大変な年でした。ハウス栽培のトマトやほかの作物は高温障害で出来が悪く、水稲に関しても乳白米ができ、品質が悪く生産者は困っております。

今年(令和5年)は当町議会議員の改選期に当たり、8月27日が投票日であり



編集後記

選挙運動も毎日、うだるような暑さで私たちが熱中症にもならず走り通しました。

広報委員会のメンバーも変わりましたが、今後ともよろしくお願いたします。

高橋 重信

正確で分かりやすくをモットーに より良い紙面づくりを目指します!



赤間則幸 鎌田暁史 委員長 高橋重信 副委員長 石垣正博 鈴木利博 金須新一